

議会だより

No. 63 2020年8月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実
●編 集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信をしています！



坂戸山から塩沢方面を望む

令和2年度一般会計補正予算審議	2ページ
その他議案審議	3ページ
令和2年第2回臨時会の概要／議決結果	3ページ
要望書を提出しました	4ページ
6月定例会議決結果	4～5ページ
一般質問 13名が市政をたず	6～12ページ
各常任委員会報告	13ページ
議場にモニターがつけました／小学校の議会学習に行ってきました	14ページ
政務活動報告	14～15ページ
9月定例会の予定／コシヒカリの日	16ページ

6月定例会 の概要

本会議は6月1日、8日～10日、12日の5日間、常任委員会は6月2日～4日に開かれました。議決結果は4～5ページをご覧ください。

令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第3号）

9億1,217万7,000円を追加

予算総額373億6,152万3,000円に

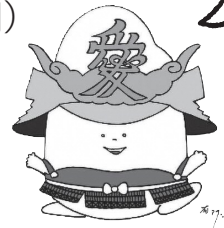
補正予算（第3号）は、第2弾の新型コロナウイルス対応としての南魚沼市独自経済支援策を中心に、児童福祉費では、国の補助を受けて学校法人里咲学園が行う、地域子育て支援拠点整備補助金を計上し、教育費では、国の進めるGIGAスクール構想に対応した小・中・特別支援学校へのLAN設備改修費等が計上されました。

第2弾 南魚沼市独自経済支援策

- ①水道基本料金の減額（6月使用分から3か月間半額）（※）
- ②要保護・準要保護児童生徒の家庭への学習支援給付（450万円）
- ③みんな住マイル改修補助金の追加募集（2,000万円）
- ④緊急雇用対策（市臨時職員の緊急雇用）（5,400万円）
- ⑤新卒者雇用促進事業補助金（1,500万円）
- ⑥経営支援給付金（3億3,000万円）
- ⑦Wi-Fi環境スペース無料解放（予算なし）

（※）今回の補正予算には含まれません。

コロナに
負けるな



令和2年度
一般会計補正予算

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

Q 臨時職員30人採用は、どのような配置を考えているのか。

A 学校関係で、事務補助に13人、校務員補助に11人、図書の整理に6人、他に3人程度を考えている。

Q みんな住マイル改修補助金の申請期間は工事費50万円以上では、ハードルが高いのではないか。

A 申請期間を定めずに予算の範囲で受け付ける。過去の実績は平均100万円程度でハードルは高くない。

Q 学校給食のキャンセル分は有効活用すべきではないか。

A 冷凍食品については、後日活用した分を精算する。生鮮食品についても廃棄ではなく活用を考えている。

Q 通学バス運行事業費の増額は、3密を避けるための増便と聞いているが、学校の休業によって減便になった分との兼ね合いは。

A 通学バス1台増と、八海中学校の路線バスの増便分だ。休業分は最終的に精算する。

その他議案審議

Q & Aは一部のみを掲載しています。

第58号議案 財産の取得について（大型送迎バス1台）

Q 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光バス会社やタクシー業者が所有するバスを利用して、民間を支えることは考えなかったのか。

A 市が所有することで、機動性が増し、住民サービスが高くなる強みがある。民間とは協調しながら支援を行っていく。

第60号議案 財産の無償譲渡について（光ファイバー設備等）

Q 譲渡後、メンテナンス関係は先方が負担するのか。

A 無償譲渡する以上、今後は全て先方の負担となる。

第61号議案 工事請負契約の締結について（旧大巻小学校解体工事）

Q 解体する前に企業誘致等有効活用を検討したのか。

A 建物が古く、他に転用出来ないため解体することにした。

Q 学童保育棟はまだ新しいので、解体しないで有効活用は考えられないのか。

A 学童保育棟は解体せずに活用していく予定である。

令和2年 第2回臨時会 の概要

6月19日に臨時会が開かれました。
一般会計の補正予算の審議が行われました。

令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第4号）

1億5,540万円を追加

予算総額375億1,692万3,000円に

臨時会では、新型コロナウイルス対策として一般会計の補正予算案を審議しました。今回の新型コロナウイルス対策は本市としては第3弾となり、国の「ひとり親世帯臨時特別給付金」のほか、本市独自の経済支援策が打ち出されました。市の独自対策の財源は前年度の純繰越金で充当されます。

第3弾 南魚沼市独自経済支援策

- ①グリストラップ汚泥等の処理費に対する補助金(400万円)
- ②市民向けプレミアム付き飲食・宿泊券（1億1,000万円）

令和2年第2回臨時会の議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第84号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）

議案番号	市長提出議案	議決結果
第72号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第73号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第74号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第75号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第76号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第77号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第78号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第79号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第80号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第81号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
第82号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
第83号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）
議案番号	議員発議案	議決結果
発議第1号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書の提出について	可決（全会一致）

賛否一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかに示され、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

会派	南魚みらいクラブ						歩む会				未来創政会			市民クラブ			日本共産党議員団						
氏名	目黒	吉田	塩川	清塚	小澤	黒滝	関	勝又	鈴木	塩谷	牧野	阿部	大平	永井	桑原	中沢	梅沢	田中	佐藤	寺口	中沢	岡村	
議案	哲也	光利	裕紀	武敏	実	松男	常幸	貞夫	一	寿雄	晶	久夫	剛	拓三	圭美	一博	道男	せつ子	剛	友彦	道夫	雅夫	
第58号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	×	○	○

市長に要望書を提出しました

市議会では、4月24日に「新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を発足させ、情報交換などを行っています。また、市への要望をまとめ、5月15日に市長に提出しました。要望書の項目は次のとおりです。



市長に要望書を提出

1. 感染症予防対策について

- 市内の行政機関、医療機関、介護施設等の実態を把握し、情報の開示を行うとともに、医療崩壊を防ぐため、必要な備品を配備するなど総合的な感染症予防対策について予算措置を講じること

2. 生活支援策について

- 水道料金の基本料金の半額減免を6か月間実施すること
- 各種税金について減免できるところから実施し、早急に市民に知らせること

3. 経済支援策について

- 南魚沼市事業継続給付金について、事業収入が50%以上減少している事業者も対象とし、国の持続化給付金もあわせて申請できるようにすること。また、対象期間、申請期間とも国の持続化給付金に準ずること

4. その他について

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る相談支援窓口の一本化を図ること
- 新型コロナウイルス感染症対策に係る地方創生臨時交付金の増額について、市長会等を通じて強く、国に要望すること
- 県内市町村が足並みを揃えて、県内の移動ができるよう尽力すること
- 不要予算の洗い出しを行い、新型コロナウイルス感染症対策に充当すること

令和2年6月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第3号報告	専決処分した事件の承認について（令和元年度南魚沼市一般会計補正予算（第10号））	承認（全会一致）
第4号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第5号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第6号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市国民健康保険条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第7号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市介護保険条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第8号報告	専決処分した事件の承認について（自動車損害事故に係る損害賠償の額を定め和解することについて）	承認（全会一致）
第9号報告	専決処分した事件の承認について（令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第1号））	承認（全会一致）
第10号報告	専決処分した事件の承認について（令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第2号））	承認（全会一致）
第15号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市税条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第16号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第49号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第50号議案	令和2年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第51号議案	南魚沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第52号議案	南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第53号議案	南魚沼市介護保険条例の一部改正について	可決（全会一致）
第54号議案	南魚沼市子ども・若者育成支援センター条例の一部改正について	可決（全会一致）
第55号議案	南魚沼市勤労青少年ホーム条例の廃止について	可決（全会一致）
第56号議案	財産の取得について（小形除雪車（1.5m級）大和地域用1台）	可決（全会一致）
第57号議案	財産の取得について（小形除雪車（1.5m級）六日町地域用1台）	可決（全会一致）
第58号議案	財産の取得について（大型送迎バス1台）	可決（賛成多数）
第59号議案	財産の取得について（高規格救急自動車（シャシー・ぎ装）、高規格救急自動車に備える移動用無線電話装置等一式）	可決（全会一致）
第60号議案	財産の無償譲渡について（光ファイバー設備等）	可決（全会一致）
第61号議案	工事請負契約の締結について（旧大巻小学校解体工事）	可決（全会一致）
第62号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第63号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第64号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第65号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第66号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第67号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第68号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第69号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第70号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第71号議案	南魚沼市農業委員会委員の任命について	同意（全会一致）



一般質問とは・・・

**議員が市の行政全般について、
執行機関に対して所見を求め、
疑義を問いただすもの。**

■質問順位

1. 佐藤 剛
2. 中沢 一博
3. 勝又 貞夫
4. 中沢 道夫
5. 目黒 哲也
6. 田中せつ子
7. 吉田 光利
8. 梅沢 道男
9. 寺口 友彦
10. 岡村 雅夫
11. 永井 拓三
12. 桑原 圭美
13. 清塚 武敏

各議員の氏名の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になります。

一

般

質

問

Q & Aは一部のみを掲載しています。

A 市長 生活困窮、生活保護相談等が多くなっている。フードバンク等は社会福祉協議会と連携しているが、フードバンクを市が主体となって取り組むことは今のところ考えていない。社会福祉協議会でアンケートを実施し、

当市では社会福祉協議会がフードドライブを実施しながら、ある程度の食糧支援は行っているが、ひとり親世帯、生活困窮世帯、子どもの貧困実態等からフードバンクを市主体で社会福祉協議会と連携して取り組む考えはないか。

Q 質問

コロナ禍での休業、自粛で経済活動が停滞し、宿泊業、飲食店を中心に市内企業も大きな影響を受けている。国も市も経済支援、生活支援を行うが、食

答

市主体での対応は、今のところ考えていない

**暮らしと命を守るフード
バンク事業を行政主体で**



市民クラブ

佐藤 剛

A 市長 この事業は、民間や社協の動きの中でやるべきと思う。太田市長のような政治理念がないわけではないが状況も違う。支援が足りているかは注視したい。

この取り組みは、食品ロス削減、持続可能な循環型社会実現やごみ減量化など、市が計画の中の新ごみ処理場の規模や内容にも関連する。そういう面からも行政主体の取り組みは考えられないか。また、群馬県太田市では、フードバンクは市民の暮らしと命を守る取り組みで、行政がやるべきと市長の一声で行政主体で始まった。これは首長としての政治姿勢の基本であり、フードバンクはその重要施策だ。米どころ南魚沼市で食することに困る市民があつてはならないと思うが、どうか。

Q 質問

この取り組みは、食品ロス削減、持続可能な循環型社会実現やごみ減量化など、市が計画の中の新ごみ処理場の規模や内容にも関連する。そういう面からも行政主体の取り組みは考えられないか。また、群馬県太田市では、フードバンクは市民の暮らしと命を守る取り組みで、行政がやるべきと市長の一声で行政主体で始まった。これは首長としての政治姿勢の基本であり、フードバンクはその重要施策だ。米どころ南魚沼市で食することに困る市民があつてはならないと思うが、どうか。

必要な支援等を把握し、検討すると聞いているので、その結果も見ながら社会福祉協議会と一緒に進めたい。





未来創政会

中沢 一博



新型コロナによる生活・経済支援策強化を

【答】 全て全力で支援して行く

【質問】

新型コロナウィルス感染者・個人事業主が戦後最悪の危機に立たされている。市民の命と暮らしを最優先に守り、あらゆる手立てを講じ難局を乗り越えなければならぬ。そこで伺う。

- ① 国の「特別定額給付金」の対象とならない4月28日以降出生した子どもに、母子手帳を取得していれば「臨時特別出産祝い金」（仮称）の支給を。
- ② 観光需要の加速回復へ市独自の経済支援策を。
- ③ 官民一体となった市独自の安全安心の公衆衛生認定制度を。
- ④ 休業・自粛要請が長期化する中、グリストラップ汚泥等処理費補助金制度の期間延長を。
- ⑤ 介護・障がい福祉サービス従事

者に特別激励金の支給を。
⑥ 生活困窮者へ「フードバンク」「子ども食堂」の推進を。

【市長A】 ① 新型コロナウィルス感染症の経済対策であるので、

考えていない。

② まずは国内の観光事業を取り込む施策が必要だが、その前に市民の皆さんに対する宿泊業や飲食業等に使えるクーポン券の発行など、いろいろなやり方があると思う。

③ 市観光協会が主体となりガイドラインに沿った安全安心に向けて認証制度を行う。

④ グリストラップの補助については実施に向けて十分検討したい。

⑤ 国が給付の支給を検討している。見守りたい。

⑥ 重要なことである。市社会福祉協議会の力を借りながら議論をしたい。



歩む会

勝又 貞夫



教育現場の新型コロナ対策はどうか

【答】 きちんと対応している

【質問】

新型コロナウィルスの感染拡大が、教育全般に及ぼす影響ははかり知れないものとして、多くの市民が注目している。教育現場における影響と、これにより発生した問題点はどのようなものか。

【教育長A】 大きな影響は、臨時休業による授業時間の減少と、感染予防のため教育活動に様々な制約が生じていることで、問題点は次の4点である。

- 1. 年間の学習内容を消化できるかどうか。
- 2. 子供たちの運動不足や健康管理上の心配。
- 3. 子供たちが抱えるストレスと、その心のサポート。
- 4. 教職員の負担や業務の増加。

【質問】

今後予想される対策についてはどうか。まもなくやってくる夏休みについては、人の移動が盛んになることが予想されるかどうか疑問でもある。夏休みの「3密防止」について教育委員会はどのように考えているか。

【教育長A】

文部科学省のガイドラインにより示された「学校の新しい生活様式」の行動基準により進めていく。夏休みの「3密防止」については、休みにしっかりと生活指導する必要がある。

【質問】

今後の「新しい生活様式」とは違ったものになると新聞には明記されているが、具体的にはどんなものか。

【教育長A】

文部科学省からも、新しい授業のあり方として示されたばかりで、学校でできることと家庭でできることが大きく変わることになる。



日本共産党議員団

中沢 道夫



PCR検査の実体と今後の検査体制は

答 検査件数を発表することは出来ない

Q 質問 新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、南魚沼市は、「市内に感染者はいません」との発表を行ってきたが、相談者数と検査件数は何件か伺う。

A 市長 今後の第2波に備えてPCR検査態勢を抜本的に強化する必要があるが、市長の考えを伺う。

A 市長 検査件数は県が管理している。市に報告はない。

県はPCR検査センターを第2波に備えて、準備している。市としてもドライブスルー検査を想定している。

Q 質問 緊急事態宣言による「休業・自粛要請」に応えた事業者への助成や給付が、多くの人に届いてない。国民の命を守り感染拡大を防ぐための緊急事態宣言

だから、安心して休業や自宅待機をするためには、損失にふさわしい補償を国はすべきだと思うが、市長の認識を伺う。

A 市長 南魚沼市として自粛要請はしていない。国の自粛要請に対する補償を問われても困る。市として必要な支援には今後も取り組んでいく。

今後の市の独自支援について

答 今後も必要な独自支援を行う

Q 質問 国は第2次補正予算で、これまで要望のあった分野への手当も打ち出しているが、すでに困窮している所に支援が届くか疑問だ。市独自の次の手立てについて伺う。

A 市長 地方創生臨時交付金を見ながら、本格的な支援策を講じなければならぬ。



南魚みらいクラブ

目黒 哲也



新型コロナウイルス感染症対策は

答 行政の力強い発動をしていく

Q 質問 庁舎機能の分散化等リスク管理は万全か。

A 市長 試験的に実施し、一定の目は立った。改善点がわかったので、今後に備える。

Q 質問 災害発生時の避難所対応は。

A 市長 感染防止のためにも、まずは在宅避難や親戚や知人宅への避難、または車避難を市報等で周知する。感染拡大を防止するために段ボールの仕切り等の態勢は整えている。

Q 質問 飲食業や観光業への経済促進対策は。

A 市長 まずは住民が利用し、市内の景気回復を図る策を考えている。

Q 質問 子どもたちや保護者へのメンタルケアは。

A 教育長 スクールソーシャルワーカー、相談員、スクールカウンセラーによって対応している。また学習以外の教育活動を通して心のケアや成長を促していく。

Q 質問 一刻も早くオンライン授業の体制を整備すべきと思うが。

A 教育長 今年度中に一人一台の端末とオンライン環境を整える。合わせて自宅でのインターネット環境の整備をしていく。また教員のICT活用力の向上を進めていく。

Q 質問 テイクアウトまとめサイト等の市民活動団体へ支援は出来ないのか。

A 市長 いち早く動いてくれた若い人に心が温かくなった。公金ではなく、サポート支援を行った。今後の良い事例になった。



市民クラブ

田中せつ子



地方創生につながる観光振興は

答 広域連携体制を整えつつV字回復へ観光で牽引したい

質問 林市政4年間の観光振興施策の成果と総括は。

A市長 観光入り込み数は年々上がって、リピーターが移住につながった例もあるが、観光資源を活かしきれていない。まだ目標達成には至っていない。

質問 だが、中越文化・観光産業支援機構の事業は進んだか。広域連携の活用状況は。

A市長 地方創生推進交付金事業として、12市町村と広域連携し、日本語版・外国語版の冊子配布やSNSで魅力を発信している。

質問 うおぬま・浦佐駅観光案内所を拠点とし、市内全域

の観光資源を巡回する二次交通体制の推進は。

A町議 誰でも乗れる二次交通を

目指し、費用対効果を実証実験しながら、来年度以降も検討していく。

質問 国のGOTOキャンペーンには、市として積極的に取り組むか。

A市長 一時的なキャンペーンに終わらせないよう、長期的に取り組み、第3弾の支援を取りまとめ、地域経済回復の材料としたい。

質問 八海山麓の観光施設は地域資源として、施設整備を進め充実した観光拠点とするか。

A市長 体験型観光施設として大切な拠点と考える。多額な予算が必要になるので、他の施設との整合性を図りながら、できる修繕は責任を持って行う。



南魚みらいクラブ

吉田 光利



5Gアンテナ基地局の誘致を進めるべきと思うが

答 需要を精査し今後の対応を考えた

質問 太いパイプのあるNTT東日本を通じての誘致活動の展開をはじめ、公共施設の屋上の提供、民間への支援も考えるべきと思うが、どうか。

A市長 特に地方は山があり、電波の障害がある。高い建物の公共施設は積極的に考える。NTTとの接触の機会もあり、話していきたい。

質問 雪資源活用プロモーション事業と同じ様に、5Gの取り組みを「通信環境先進地」として市の2大プロモーションとして取り入れたらどうか。

A市長 当市の需要はまず農業、そして医療現場等が考えられるが、何に対して必要なか調査を含めて、積極的に考えたい。

質問 地域企業や自治体等の様々な主体で柔軟に構築できる「ローカル5Gシステム」について、市としても検討するべきと思うがどうか。

A市長 電波の制限、高額な投資等、高いハードルがあるが、関心をもって調査を進めたい。

質問 5Gは若者の移住・定住や、企業進出の魅力的なツールと思うが。

A市長 今回コロナ対策でも「WiFi環境スペース」を無料開放している。魅力的なツールであり、その方向に進んでいくと考える。

※5Gとは：音声のアナログ方式から、高精細動画通信の第4世代を経て、現状の100倍のスピードでの超高速移動通信や超低遅延・多数同時接続ができる画期的な、「第5世代移動通信システム」である。



市民クラブ

梅沢 道男



銭淵公園整備事業の1年先送りを

答 この事業はどうしても実施する

Q 質問 銭淵公園整備事業は、どうしても今年やらないと間に合わないような事業ではない。新型コロナウイルス対策の財源確保のため、単費（全額市の負担）で行うこの事業は、1年先送りして、補助事業で実施すべきと思うが、市長の認識を伺う。

A 市長 2か年でこの事業を計画している。どうしても1年で駐車を整備し、多目的トイレも早くつくりたいということだ。

Q 質問 私もこの事業を、不要な事業とは思っていない。しかし、全額市の負担だ。補助事業なら7分の1、8分の1の経費でできる。障がい者トイレも7倍、8倍の整備ができるわけである。それにもかかわらず、総合計画に

も載っていない事業を、なぜ今年、急に予算計上して、やらなければいけないのか理解できない。

A 市長 どうしてもということ、庁内で調整を図り作り上げた予算で、議会にも認められた案件だ。

Q 質問 当初予算では決定したが、このコロナ禍の中にあつて、これからどれだけの経費が必要か、こういった政策が必要になるのか予測もつかない。

補助事業を活用することで、貴重な市の財源は、コロナ禍を乗り切るために、地元業者に手を差し伸べることに使うべきではないか。

A 市長 今言われて考えを変える必要だと思っている。執行するのが私の責任だ。



市民クラブ

寺口 友彦



市役所の仕事をデジタル化する企業を誘致せよ

答 デジタル化は全国的な流れだと思つ

Q 質問 紙ベースでの決裁を改め、市役所の仕事をデジタル化する企業をグローバルITパークに誘致せよ。人工知能やロボットを使って人材不足を補え。

A 市長 自治体のデジタル化は急務だと考えている。単に仕事をデジタル化するだけでなく、市民の利便性向上や効率化を図り、人口が減少してもサービス水準を落とさずに維持するという方向になっていくだろう。グローバルITパークを開設した南魚沼市としては、いろいろなことに取り組んでいかなければならない。

Q 質問 アダムイノベーションズに代わる企業を呼んでくるという方向も考えられると思うが、

A 市長 ルールを変えたので、アダムイノベーションズに限らず、いろいろな人たちに入ってもらつ。

公共交通網形成に民間バスも含めた体制づくりを

答 法律がありできない

Q 質問 市の公共交通網形成に民間所有バス、ワンボックスカーも含めた体制づくりと、情報通信技術を駆使した管理運営体制で臨むようにすべきではないか。

A 市長 法律があり、料金の徴収を伴う運送を目的としている場合は、空き車両があつても利用することは認められていない。また、外国のマース、Uberなどの体制は、日本では無理だ。国もいろいろな議論を始めると思ふし、実証実験を始めた自治体もある。進めていかなければいけない事業だ。



日本共産党議員団

岡村

雅夫



医療のまちづくり構想を問う

答 取り組みはこれからで議論はタブー視なくやる

Q 質問 医療政策特別顧問を登用したが、その成果は。

A 市長 毎月、協議を行い、成果はあらわれている。県に当市の医師不足の窮状を伝え、県内で最も早く要望書を提出した。

Q 質問 市民病院に開設する寄附講座の構想は。

A 市長 特別顧問からの助言によるもので、自治医科大学への働きかけになる。市民病院の常勤医として勤務してもらい、若手医師の育成につながる研究になればと考えている。さいたま医療センターと関係を深められると期待している。

Q 質問 市長が市議時代に医療対策特別委員会があり、今の

医療体制ができた。しかし、今の体制では大変で医療のまちづくり検討委員会を立ち上げたと思うが、4、5回語って結論が出る問題ではない。私案があるのでないか。

A 市長 私案はなく、私の不安があったことが大きい。特別委員会委員長だったが、勉強不足だった。大和病院建てかえの要望、医師不在問題が出たとき、ベストな道筋を示してくれる人がいなかった。委員会ではフラットな形で一番いいと思えるものを示してもらいたい。

Q 質問 市民病院は統合し、大和病院を介護医療院にして、経営を他に委ねるといふ話が出るのはいかなるものか。

A 市長 大和病院だけの話ではない。このままでは、市立病院群そのものの機能役割がだめになる可能性が高い。



未来創政会

永井

拓三



南魚沼市のこれからの関係人口はいかに

答 積極的に推し進めていく

Q 質問 首都圏からのアクセスの良さを生かした2拠点生活を含む移住推進はいかに。

A 市長 新しい生き方や働き方を模索する人が増えてくるので、地方にサテライトオフィスを置く企業など、首都圏からのアクセスの良さを活かしていこうと思う。移住や2拠点生活などの政策は強化するべきだと考えている。好機ととらえている。

Q 質問 仕事と余暇の過ごし方のバランスを組み合わせたワーケーションはいかに。

A 市長 ワーケーションは新しく広まりつつある働き方の傾向で、スノーアクティビティや自然環境、そして食などの地域資源もあり、交通の利便性に加えて、

さまざまなストーリー付けができるのではないかと。デメリットとしては、テレビ会議などの情報交換にコストがかかり、労働時間の把握が難しいこと、そして情報管理面での課題がある。

Q 質問 交流人口の変遷はどのように予測しているか。

A 市長 地方創生で重要な定住人口以外にも、関係人口の増加する機会を作り、典型的な観光地との差別化をねらっていく。これに関しては、我々のこれまでの取り組みは進んでいると自負している。

Q 質問 地域のマーケティングとプロモーションをどのように進めるか。

A 市長 他の地域に比べて優れている点を、地域の資源としてプロモーションをしていく。地域の宝は足元にあると考えている。



未来創政会

桑原

圭美



市長の市政運営は

答 公約通りではない部分もあるが質も改善している

Q 質問 若者が帰ってこられる基盤づくりはどうだったか。雇用の確保が大事であると思うが進んでいない。

A 市長 ご指摘の通りである。市内の環境や制度の整備、企業紹介、就職活動の機会の拡大、就職ガイダンスを行っていく。

Q 質問 住民との合意形成は政策遂行の重要なプロセスであるが、今後の事業推進に向けてどのような進め方をするのか。

A 市長 住民の合意形成は難しく、個々の権利意識が歴史上、これほど高まっていることはないのではないかと。市民全体の利益を考えていく。

Q 質問 地域医療体制の整備はどうするのか。

病院事業改革、財政改革と位置付けて抜本的な改革を示すべきではないか。

A 市長 命を守る使命が第一であり、医療体制の低下はさせない。

Q 質問 新型コロナウイルスの影響に対する、学びの保障をどう考えているのか。

また、部活に対して中学三年生と保護者が大変気の毒だ。何か活躍の場はあるのか。

A 教育長 集団生活や集団づくりへの影響が大きいので対策をとる。夏休みの短縮は各校に任せ、個々に合わせた学習支援を一層推進する。郡市内の交流試合、中越県大会は検討中であるが、この場で回答できない。



南魚みらいクラブ

清塚

武敏



ふるさと納税県下ナンバードワンの実現は

答 皆で一致団結して成し遂げた。

Q 質問 4年前、ふるさと納税返礼品を開始してから、寄附額は年々増加している。市の魅力の発信と、市が取り組む多くの事業や、新型コロナウイルスの経済支援策の財源になっている。

市長が目指した県下ナンバードワンの実現の壁は高く、魚沼市にも昨年度は抜かれている。

今までの取り組みの実績をどう分析しているのか。また、今後ナンバードワンへの戦略として、どう取り組んでいくのか。

A 市長 県下ナンバードワンの実績には至らなかった。魚沼市のネーミングは強く、返礼品の84%以上は米が選ばれている。魚沼市も同様に米である。今後は互いに、いい意味で競い合って、ふるさと納税アップにつなげたい。

ふるさと納税のサイトを更に増やし、現在の5つから、9サイトに増やすことによって、さらに多くの客層に、南魚沼市を知っていただき、交流人口、関係人口の増進に努めていく。

Q 質問 返礼品取扱事業者数の推移と、返礼品の拡大をどう進めるか。

A 市長 事業者数も年々増えている。今年度は81事業者、978品目だ。事業者が登録しやすい環境を整え、南魚沼産コシヒカリを主力品目としてPRしながら、当市へ来ていただき、地域とふれあってもらえるよう、モノからコト、特にヒトを大事にする交流が生まれていくことを願っている。

ふるさと納税寄附額

年度	寄附額
平成25	131万1400円
26	302万4100円
27	1億646万7400円
28	7563万5000円
29	9億918万3615円
30	11億7305万775円

返礼品事業は平成29年度から開始。令和元年度の寄附額は集計中です。

総務文教委員会 管内調査

◎期日 令和2年4月20日

◎調査内容

新型コロナウイルス感染防止のための学校の休業措置について

教育委員会では、感染防止のために3月3日から3月16日まで、市立学校すべてを臨時休業としました。その後、3月17日から春休みの開始日まで、さらに臨時休業としました。

①休業措置による学校行事の対応

修学旅行・大和・八海・塩沢中が延期を決定
卒業式・規模を縮小し時間短縮などとして実施
終業式・中止

②休業措置による授業の取り扱い

文部科学省から提示された留意事項は、休業により学習の遅れが生じないように、また課程の修了に不利益が生じないように配慮するということでした。休み期間中に家庭学習ができるよう配慮した結果、大きな遅れは出ていません。

③休業措置による給食の取り扱い

3月3日から給食の提供を中止しています
が、中止により提供されなかった給食費については、日割り計算で保護者に返金しました。

④学童保育の受け入れ状況

3月3日から緊急措置として、午前8時から午後6時まで受け入れすることを決定し、そのために生じた支援員の不足については、学校介助員17名から学童クラブの応援に入ってもらいました。

産業建設委員会 管内調査

◎期日 令和2年4月23日

◎調査内容

新型コロナウイルスに係る観光産業への影響について

市内経済への影響を把握し、支援策等を模索したく、緊急アンケートを実施しました。速報によると、影響は回答者の90・3%が影響見込みあると危惧されています。影響内容は製品・サービス等の受注・売上減少が一番大きいようです。行政(国・県・市)や支援団体に期待する支援策については、マスクや消毒液などの感染症防止に関する物資支援が一番多く、これは市民全体に言えることです。

南魚沼市緊急一時待機支援については、他県からどうしても帰って来なければならぬ人で、やむをえない理由がある場合に、一時待機として施設を利用する事業です。

Q 一時待機支援のホテルの選定については。

A 南魚沼市観光協会等と相談させていただき、宿泊が可能でバストイレ付の部屋があることと、一般客とフロアを別にできるところを、六日町観光協会から紹介いただいた。

Q 一時待機支援利用者の状況やホテルスタッフの対応や消毒などの管理は。

A 朝晩の体温を測定し、随時チェックしている。また、新型コロナウイルス感染症に対する対応については、保健所に目を通してもらっており、それに沿って管理している。

Q 一時待機支援はいくら補助しているのか。

A 一泊3,500円で実施しており、市から1,500円補助している。

社会厚生委員会 管内調査

◎期日 令和2年4月21日

◎調査内容

ごみ処理施設の今後の整備方針について

現在の可燃ごみ処理施設は稼働を始めて、すでに16年が経過しています。毎年、設備の点検・定期修繕を行っていますが、年数の経過などにより主要設備の予期せぬ故障が発生しています。新たなごみ処理施設が完成し、現在の施設が無事に役目を終えるまでは、安全・安心にごみ処理を継続していく必要があり、今後約10年間の安定稼働を目指して施設整備計画書(案)が策定されました。

施設整備計画書(案)では、まず、主要設備・機器の重要度評価や健全度評価を行い、それをもとに整備の優先度を判定しました。また、処理機能を維持するため、優先度が高い設備・機器は早い段階で整備を行うよう、スケジュールを組み立てました。新しいごみ処理施設の稼働が見通せない中、令和10年度を超えた稼働も考えられ、計画の見直しとあわせ整備を進めます。

整備費は、全ての整備を実施した場合、10年で約49億円となる見込みですが、整備計画に基づき、早い段階での更新を実施することで、修繕費の縮減を図ります。

施設整備計画書(案)はまだ完成版ではなく、今後、財源的協議も含め、全庁的な調整をしながら進めていきます。

令和元年度 南魚沼市議会政務活動費収支一覧 (平成31年4月～令和2年3月)

政務活動費は、議員の調査研究などの活動に必要な経費の一部として市から交付されるものです。南魚沼市では、議員1人当たり月額1万2,000円を半年ごとに会派に交付しています。令和元年度に政務活動費がどのように使われたか、お知らせします。

なお、令和2年度から議員1人当たり月額1万7,000円が会派に交付されます。

会派名	南魚みらい クラブ (7名)	歩む会 (5名)	未来創政会 (4名)	市民クラブ (4名)	日本共産党 議員団 (2名)	計 (22名)	
交付額	1,008,000	720,000	576,000	576,000	288,000	3,168,000	
支出	調査研究費	1,265,160	951,332	577,322	298,938	0	3,092,752
	研修費	0	0	0	186,130	0	186,130
	広報費	0	0	0	166,221	363,255	529,476
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0
計	1,265,160	951,332	577,322	651,289	363,255	3,808,358	
返還額	0	0	0	0	0	0	



議場にモニターがつきました



議場の大型モニター

3月定例会から議場の中にモニターが2か所設置されました。傍聴席からも質問する議員の表情が大画面で見られます。また、音響・録音システムも新しくなりました。

ぜひ生の議会を見に議場へお越しください。

六日町小学校の議会学習に行ってきました

六日町小学校では、6年生の社会科で議会の役割や働きを学習しています。6月16日に六日町小学校を訪問し、議会について説明しました。

児童からは「臨時会はどんな時に開かれますか」、「市民からどのような意見が議員さんに届きますか」といった鋭い質問がたくさん出ました。

これをきっかけに子どもたちが地域のまちづくりに興味を持ってくれることを望みます。



議会について説明しました(小澤議長)

令和元年度 南魚沼市議会政務活動内容一覧 (平成31年4月～令和2年3月)

会派名 ◎…会派長	内容
南魚みらいクラブ ◎塩川裕紀 目黒哲也 吉田光利 清塚武敏 小澤 実 黒滝松男 関 常幸	●視察 令和元年9月30日～10月2日 7人参加 石狩市：議会改革とペーパーレスの取り組みについて 倶知安町：観光施策と宿泊税について
	●視察 令和元年11月20日～21日 3人参加 江戸川区：地域包括ケアシステム「なごみの家」の取り組みについて、障がい者スポーツの取り組みについて 内閣官房国土強靱化推進室：国土強靱化地域計画について (歩む会との合同調査視察)
	●視察 令和2年2月4日～6日 7人参加 豊後高田市：豊後高田市学びの21世紀塾事業について 竹田市：竹田式湯治温泉療養保健システムについて 地方創生EXPO：「小さな世界都市」豊岡市のインバウンド戦略とは
歩む会 ◎塩谷寿雄 勝又貞夫 鈴木 一 牧野 晶 阿部久夫	●視察 令和元年10月16日～18日 5人参加 下関市：ジビエ有効活用推進事業について 萩市：健康寿命延伸について 山陽小野田市：議会改革について
	●視察 令和元年11月20日～21日 4人参加 江戸川区：地域包括ケアシステム「なごみの家」の取り組みについて、障がい者スポーツの取り組みについて 内閣官房国土強靱化推進室：国土強靱化地域計画について (南魚みらいクラブとの合同調査視察)
	●視察 令和2年1月27日～29日 5人参加 上勝町：ゼロ・ウェイストの取り組みについて 高知市：二段階移住推進事業について 松山市：子育て応援券交付事業について
未来創政会 ◎中沢一博 大平 剛 永井拓三 桑原圭美	●視察 令和元年7月22～23日 4人参加 由布市：クアオルト研修会を中心としたまちづくりについて、由布コミュニティ底力再生事業について 中津市：中津市民病院について
	●視察 令和元年11月18日～20日 4人参加 高松丸亀町商店街振興組合：丸亀町商店街再開発事業について 今治市：サイクリングでの観光振興、サイクルシティ構想について
市民クラブ ◎寺口友彦 梅沢道男 田中せつ子 佐藤 剛	●視察 令和元年7月25日～26日 4人参加 松本市：松本ヘルス・ラボ事業について 山梨県：農福連携推進センターについて
	●視察 令和元年11月14日～15日 4人参加 十日町市：ハピ婚サポートセンターについて、十日町市バイオマス産業都市構想について 滑川市：移住定住政策について、子育て支援策について 富山市：観光戦略プランについて、SDGs未来都市計画について
	●会派広報紙「広報市民クラブ」発行(第12号)
	●視察 令和2年1月30日 4人参加 長岡市：資源循環型社会の取り組みについて 見附市：循環型社会形成の取り組みについて
	●研修 令和2年2月7日 4人参加 地方議員研究会セミナー：データで読み解く人口減少対策
日本共産党議員団 ◎岡村雅夫 中沢道夫	●会派広報紙「市議会報告」発行(第54号、第55号、第56号)

9月定例会 予告

次の定例会は8月31日～9月17日の予定です。

9月 議会カレンダー(予定)

この予定は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

8月31日	月	本会議 (初日)	7日	月	本会議 (一般質問)	14日	月	本会議 (決算審議)
9月1日	火	本会議	8日	火	本会議 (一般質問)	15日	火	本会議 (決算審議)
2日	水	社会厚生委員会	9日	水	本会議 (一般質問)	16日	水	予備日
3日	木	産業建設委員会	10日	木	本会議 (決算審議)	17日	木	本会議 (最終日)
4日	金	総務文教委員会	11日	金	本会議 (決算審議)			

傍聴のご案内

本会議は、9時30分～市役所本庁舎3階議場で行います。どなたでも傍聴できます（ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります）。詳しくは、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴の際はマスクの着用をお願いしています。

10月10日はコシヒカリの日



南魚沼産コシヒカリは、今や、世界に冠たるブランド米となりました。「南魚沼市コシヒカリ普及促進に関する条例」では、10月10日を「南魚沼市コシヒカリの日」と定め、市、生産者、事業者、そして市民が一丸となって南魚沼産コシヒカリの品質とブランド力の向上、食育の促進、消費拡大にむけて取り組むこととしています。

10月10日は南魚沼産コシヒカリをみんなで食べましょう！



編集後記

今回の新型コロナウイルスの感染は、空前の規模で全世界に拡散しました。いつまで続くのか、なかなかその先が見えません。経済への影響はリーマンショック以上とさえ言われています。4月に国から出された緊急事態宣言も5月には解除され、今は沈静化したように見えてはいますが、まだまだ安心できる状況ではありません。感染の第2波は必ず発生すると言われています。過剰に警戒する必要はないとしても、楽観的な空気が油断につながる可能性もあります。今回の感染拡大が教育全般に及ぼす影響は、はかり知れません。教育現場では、前例のない状況への対応が続いています。夏は人が動く季節で、学校の夏休みなどでは、児童・生徒の気持ちもゆるみ、3密になりやすい。学校での生活指導だけではなく、社会全体で互いに注意し合うことが必要と思います。

編集委員 勝又 貞夫

議会広報編集特別委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大平 剛 |
| 副委員長 | 梅沢 道男 |
| 委員 | 目黒 哲也 |
| 委員 | 吉田 光利 |
| 委員 | 中沢 道夫 |
| 委員 | 勝又 貞夫 |
| 委員 | 阿部 久夫 |